

青指ニュース

第133号
 発行者
 河内長野市青少年指導員連絡協議会
 広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/seishikyo/>



学びの森 (7月29~31日)

今年も「学びの森」が7月29日(金)~31日(日)奈良県天川村の洞川キャンプ場で開催されました。参加者は小学4年生から中学生までの53名、スタッフは一般募集も含め何と54名がサポートしました。今年は何万十川での児童死亡事故を受け教育委員会の要請もあって、万全の体制で臨みました。

1日目は現地到着後3日間使う杉箸の制作から始まって、テント設営、ゲームや大縄跳び、定番のカレーライスの夕食の後、キャンプファイヤーを行いました。今年は何年ぶりに火文字が復活し、暗闇に「絆(きずな)」の文字がくっきりと浮かび上がりました。

2日目はいよいよ洞川地区散策です。事前に計画を立てたり準備をしたりする熱心なスタッフもあり、それぞれのルートで散策をしました。散策にあたっては事故を未然に防ぐため、総務のスタッフが各班に1名ずつ付きました。ただし、気温が低かったため、蟻螂の岩屋前の川遊びは例年より少なかったようです。夕食の後、肝だめしとレクゲームとなりました。

今年の肝だめしは昨年の反省と新たな試みで実施したため、スタッフも心配するほど泣き出す子もたくさん出て好評でした。その後は1日目に続きドラム缶風呂に入りましたが、今年はOB



の方の協力で川の中に大風呂(やや小さめでした)が新たに設営されました。

2日目は午後から何回か強い雨が降ったのですが、幸い夕食やイベントのときは降らず、雨男の実行委員長の威力も低下したようで良かったです。

最終日の3日目は想い出づくりで、木の八ガキに楽しかった3日間のことや班の仲間のことを書きました。八ガキは数日後に自宅などに配達されます。その後はスタッフに作っていただいた昼食を食べたり自由に班別活動をし、夕方5時頃には全員無事に市役所に到着しました。参加者はお家に帰り家族の方に色々なお話をしたことでしょう。少し成長してくれたら嬉しいです。スタッフの皆さんも大変ご苦労様でした。今年も鬼おどりに参加できませんでした。新しい企画も含め学びの森の意義をあらためて考えていきたいと思ひます。もうひとつ、今年の薪は被災した大槌町から届いた「復興の薪」を使用し、少しでも早く復興することを祈って火を燃やしました。被災地の皆さんも頑張っていたいただきたいと思います。



青指交流会開催 (6月12日)

青指49名、JOY・リーダー会6名、計55名が参加して「青指交流会」を今年は何野公園天野山キャンプ場で開催しました。

この交流会は青指同士の親睦を深める目的で、任期更改の2年毎に、研修部・レク部合同事業として実施しています。

9時30分に集合、オリエンテーションの後、班別で竹筒による「竹かやくご飯」と「トン汁」を作りました。途中から空模様があやしくなり、早々に食事片付けの後、雨の中近くの井上すだれ

さん「すだれ資料館」に移動。休日にもかかわらず社員の方から、すだれの種類、歴史、業界環境などビデオを交えて説明を受け、引き続き工場案内もしていただきました。河内長野の有力地場産業の製造現場を目のあたりにして、工場見学大変勉強になりました。

交流会は、青指メンバーが一日野外で活動する数少ない機会です。今回都合で欠席された方も、次回是非参加お願い致します。



研修活動

心肺蘇生法(AED)講習会

7月10日キックス大会議室でAED講習会を開催しました。参加者16名は消防署の方から講義を受けた後、2班にわかれ、人形とAEDを使って実技実習。何回か受講されている人も消防署の方から一旦事故発生時は「複数で対応する」、「あわてず冷静に対応する」、「救急車到着まで休まず蘇生活動を続ける」ことが人命救助につながるなど実例をあげて説明いただき重要性を再確認しました。参加者の皆様お疲れ様でした。

パソコン研修

研修部会では「パソコンの操作を教えてください」、「デジカメ写真やイラストを入れてインパ

クトのある文書を作りたい」、「電子メール、インターネット、ツイッターを使いたい」などの希望があり、浅野和仁さん(講師)と池西(助手)の南花台コンビで部員対象のパソコン研修を実施しました。2010年度は5回、2011年度は対象を青指全員に拡大して、「Skype」と「Facebook」の2回の研修を実施しました。

特に、3回目以降のTwitter、Facebook、Skypeでは、ネットワークを通じた情報共有の体験を中心に研修を行った結果、TwitterやSkypeを使った参加者同士の情報共有が研修終了後も継続されています。

各回とも参加者は10名以下でしたが、トラブルが起こった時にはマンツーマンの対応ができ、密度の濃い研修になったと思っています。

ジュニアキャンプ (8月20・21日)

8月20日・21日の両日、85名の参加者のもと、滝畑ふるさと文化財の森センターにてジュニアキャンプが実施されました。初日より小雨混じりの幕開けとなり、少し肌寒いプールでしたが、水しぶきをあげながら楽しみました。夜のキャンプファイヤーは雨で中止になり残念!代わりに、屋内で趣向を凝らしたゲームをして楽しく過ごしました。

二日目は、各パートに分かれてカレーづくりをしました。仲良くなったお友達と野菜を切ったり、玉ねぎを切って涙が出たり、各家のお手伝いのお話しをしてくれました。屋外では、モ

クモクと煙の中、一生懸命竹筒で息を「フーッ」と吹きかけながら出来上がったお米は、ピカピカしており、ジュニアシェフの夢の詰まったさまざまな大きさの具材で、最高のカレーライスが出来上がりました。

子どもたちに最高の夏をアシストしたスタッフの皆様、ありがとうございました。



第20回青少年音楽フェスティバルに向けて (11月20日開催予定)

～ 今年も熱く!熱く! ～

第20回青少年音楽フェスティバルは、出演グループ募集(6月)・面接(7月)を経て8/7(日)、全体説明会を開催しました。11/20(日)、第20回となる節目のイベントに20組の応募という不思議な「縁」を感じます。出演者の年齢や構成・音フェスに対する「おもい」も様々ですが、実行委員一同、出演者とともに「熱いら

イブステージ」を創りあげていきたいと思えます。出演者で、実行委員と一緒に企画を考えてくれる頼もしい有志が数名集まりました。

11月の本番に向けて9/4(日)・10/2(日)・10/23(日)11/13(日)にキックス イベントホールで全体練習を開催します。本番はもちろん、全体練習にも見学・激励・応援など大歓迎ですので どうぞおこしください。

西中学校区

地区夏祭りパトロール実施

8月6日「サニータウン盆踊り大会」「高向くろまる盆踊り大会」、8月20日「旭ヶ丘納涼の夕べ」パトロールを育成会と合同で実施。

いずれも厳しい暑さの中盛大に行われ、メンバーも汗だくになりながら巡回しました。

会場は、親子孫を交えて旧交を温めあう光景があちこちで見受けられ、薄れがちになる「地域のきずな」復活に夏祭りの果たす役割は大変大きいと、改めて実感しました。

校区では10月の秋祭りパトロールも実施予定です。



長野中学校区

楽習室「スリーアイズ」

6月18日 長野小学校 6月25日 小山田小学校

「あっ、強すぎた」「もうちょっと左」「7番に入れたら1点」などの声が響いた体育館。九つのます目をねらってボールを投げる『スリーアイズ』の競技に多くの子どもたちが挑戦していました。簡単なように見えても微妙なボールのコントロールが必要なこの競技。最初はなかなか点がならず、ストレスがたまっていたようですが、慣れてくると点が入るチームが出てきて、そのたびに歓声が聞こえていました。多くの子どもと大人たちが楽しく時を過ごしました。

サマーキャンプに協力

7月16・17日滝畑ふるさと文化財の森センター
今年も健全育成会主催で行われ、1日目はカレーづくり、川遊び、夜のゲーム大会、2日目はプール遊びに多くの子どもたちが笑顔で参加していました。低学年の子ども世話を高学年の子どもがしっかりとっていて、異学年の子どもたちの交流がよく見られた2日間でした。



千代田中学校区

「紙すきとふれあい動物園」

私たちの2011年度最初の事業「紙すきとふれあい動物園」を6月4日(土)楠小学校で実施しました。今回は大阪府立農芸高校資源動物科ふれあい動物部の生徒さんと先生に全面的に協力いただいたのですが、まず農芸高校の生徒さんから全般の説明を聞いた後、半分に分かれて紙すきとふれあい動物園のはじまりです。

紙すきには動物のフンも使われています。農芸高校でも再利用やりサイクルの取り組みがされており、普通では捨ててしまうか肥料にしかならない動物のフンも何とか利用しようと考えました。実は草食動物のフンの大半は繊維質ですから紙の原料にもできるのです。いよいよ紙すきですが、紙すきの枠を原料の水の中でゆすってそっと引き上げて水を切ります。普通はこのまま乾くまで

2・3日置いておくのですが、今日は帰りに参加者が持って帰りますので、アイロンで強引に乾かすこととしました。紙は切手を貼ってハガキとして出すこともできます。

紙すきが済んだ児童はふれあい動物園でブタ、ヤギ、ヒツジ、ウサギ、モルモットなどと餌のキャベツとニンジンを持ってふれあいました。その後自分で乾かしてもらった紙と、植物の種入りの紙をもらい終了です。これは農芸高校の生徒さんが作ってくれたもので、紙の中に花の種がすき込んであります。参加者は、楠小学校の児童42人・幼児4人・保護者13人の計59人、スタッフは農芸高校の生徒と先生23人・青少年指導員他13人・先生3人の39人でした。



東中学校区

東中学校の先生との懇談会(5月17日)

当校区恒例の中学校の先生方との懇談会を開催しました。校長先生、教頭先生、生徒指導主事の先生が参加してくださいました。お互いの自己紹介のあと、生徒の状況、指導方針などを聞きました。日頃の生活指導の大変さがうかがえるお話が多かったですが、「子どもの得意なことを見つけ、良いところを伸ばすように」としており、また「何か起こってからではなく後手に回らないように」と、生徒たちに正面から向き合っておられる姿勢を知ることができました。また、参観日には青指の人も来てほしいとの要請もいただきました。有意義な懇談だったと思います。

バルーンアート(7月23日、8月6日)

東中といえばバルーンが定着し、初めてくすのき幼稚園からの要請も受け、夕涼み会に参加しました。恒例の清見台の夏祭りにも出店しました。いつもながらバルーンアートは小学生以下の子どもにいつも絶大な人気があり、お客さんの絶えることがありませんでした。他校区からの強力助っ人も駆けつけていただきました。ありがとうございました。



南花台中学校区

「こどものひろば」開催

8月6日(土)南花台中学校で健全育成会、青少年指導員、こども会主催、各校PTA、福祉委員会協賛で「こどものひろば～応援しよう!東日本～」が開催されました。例年ならば前夜祭、南花台夏祭りの時期なのですが、今年は中止となり、子ども達に何か夏の思い出の一コマをとということでこの企画となりました。

当日は8時から準備を始め、11時の開始予定でし

たが、子どもたちの出足は早く、30分前倒しで開始となりました。青指は例年であれば「あてももの」ですが、今回は「輪投げ(やっぱり景品つき)」でした。最後には先生方や店番をしているPTAの方も遊びに来られ、とても賑やかな一日となりました。



加賀田中学校区

ミニわらじ制作

6月18日に、加賀田小学校体育館にて毛糸や紙ひもを使ってミニわらじを制作しました。みんな体をまるめて夢中になり、お父さんもお母さんも子どもに戻った時間を過ごしました。

納涼映画祭

7月23日、加賀田小学校グラウンド内で育成会を中心とする納涼映画祭を開催しました。青指ブースではラムネジュースとソースせんべいを販売しました。

今後の予定

9月17日石仏小学校内で、軽スポーツを企画しています。

10月8・9日(土・日)加賀田フェスティバルを開催する予定です。



美加の台中学校区

楽習室「チリメン・モンスターをさがせ」 7月16日(土)

大好評だった前を上回る62名の子どもたちが参加してくれました。今回も府立長野北高校の先生と5人の男子生徒の皆さんに教えてもらいました。

選別されていないチリメンジャコの中に、タコ、エビ、魚の赤ちゃんが混ざっていて、それをピンセットでより分けて標本をつくります。

お宝としてタツノオトシゴの赤ちゃんが見つかりました。いつの間にか大人も子どもたちと一緒に参加したりと楽しく学べていたと思いました。

「カボチャ苗うえ」 6月4日(土)

たいへんいいお天気で、降り注ぐ太陽の下、10月のハロウィンに向けておもちゃカボチャの苗うえを行いました。植えること自体は簡単な作業ではありますが、子どもたちはワクワクドキドキ。10月にはどんなカボチャができるのか期待でいっぱいでした。現在、真夏の太陽を浴びて、カボチャはすくすくと育っています。ハロウィンパーティーが楽しみです。

「美加の台夏祭り」 7月23日(土)

暑い中、子どもたちは開始の1時間以上前から集まり、準備中の模擬店を見て周り、気の早い子どもたちは模擬店の始まる前から並んで待っていました。

子どもたちは同窓会のように久々の友を見つけ喜んでいました。

